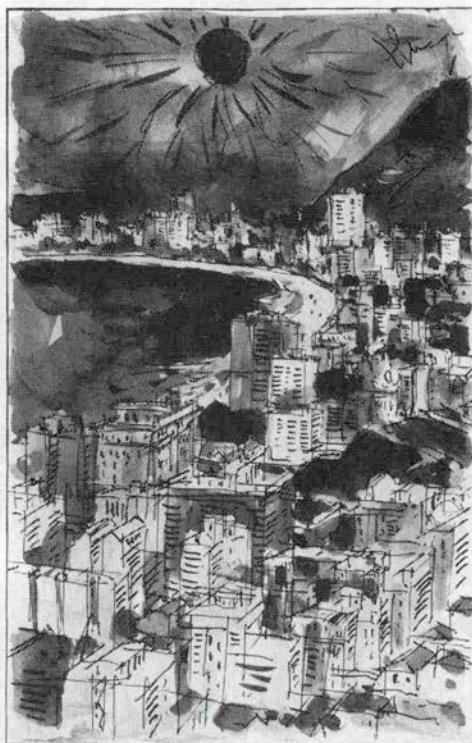


# リオ・デ・ジヤネイロ

蒼 竜一 絵／横塚 繁



またフラーーセンターに来ている。と言つて、私には草花を見て楽しむような趣味はなかつた。ただ、落ち着くのだ。私の心が暫くの安らぎを得、自由に羽ばたいて往くのが好きなのだ。特に熱帯植物の繁茂する広い温室の中が好きだ。草や木の激しい熱れと、焼けた息苦しい程の空気に覆われていることが、——私はガジュマルの樹に凭れ、ハイビスカスの花に触れ、ブーゲンビリアの咲き誇る紅に身を染め、たびとの木の下に腰をおろしている。私の手の触れる物、どれ一つとして思い出深くないものがあろうか。

かつた。妻まじい程、孤りぼっちで、しかも心は空っぽで満たされていた。限りなく不幸で、凡てを失なつていった。余分な一切の心捉われる物がないと云う点で、あるいは幸せであつたのだろうか。否、否、やはり小さな不幸せも幸せもあつた。絶望も大きな希望もあつた筈だ。でも何処かが違つていた。少くとも今のようには、淀んではいなかつた。もつとしなやかな自分で、心は遙かに多くの物を愛していた。

他人の庭に照り映える陽の光や、空を行く雲や、川や沼を渡る風を、私は愛していた。街角の水道の蛇口の水

パナマ松が聳えるクリチーバの晚秋の荒野、ピラカンサの花が溢れるサンパウロ近郊の崩れかかった土壠も、ガジュマルが気根を垂らしたアカブルコのジャングルも、コヒーの木も……、すべてが現実であり、生であり、私自身であった。

一体何であつたのである、あの日日は。

狂おしいばかりの意思に取り憑かれ、往くことだけしか考えなかつた、一日一日の明暮れ。孤独なんでものではなく

の感触も、泥濘の道も迷路のような貧民窟の空気の臭いできえ、その対象でないことはなかつた。私の内部には

今も、幾多の湖や山地や街のイメージが、沈んでいる。それらは時として、我的<sup>わが</sup>聞きあいに疲れた私に呼び、遙か

な思いは、愚劣な汚辱にまみれている魂にも、語り掛け

て来るような気がする。私は、たしかに疲れている。

こうやって、たびびとの木の下に腰を下ろしていると、現在の自分の姿が、白日のもとに晒されて居るような気がする。

あの時も、私はこうして、公園のたびびとの木の下に座つていたのだ。市街図を開いて、指先で丹念に通りの名前を追いかながら、さてどうしたものかと、腰をあげるのが億劫だった。リオ・デ・ジャネイロに着いて二日目だった。正確には前日の夕方、バスでやって来た。真直ぐにリオに来てしまつたのは、例のカーニバルを見るのが目的だった。私の身体には、まだベルーラのアンデス山中を彷徨していた、冷涼とした大気の余燐が、さめやらなかつた。冷冷とした高地の朝の荒涼たるチチカカ湖的印象を、そつくりそのまま心の底に抱いて、体まで冷え切つてしまつたような気持で、南半球の二月、夏酣<sup>なづか</sup>のリオに居る。

サンバのリズムがそう遠くない処から届いていた。脚を強い陽差しの中に投げ出していたのも、自分の体の何処かに寒さを感じていたからに違ひない。そう言えば、私はただなんとなく、昨夜は公園で夜を明かしてしまつていた。近くの売店が開くのを待ち、パンとコークで朝飯を済ました後も、まだ何となく行動を開始する気になれないでいた。

ロサンゼルスで手に入れたアーミーパックの中を整理し、昨夜から程遠からぬ処を往つたり來たりしている一人の浮浪者を観察した。明るくなつてからは、目の前を通り過ぎる男や女を眺めていた。

私はこの日、為なればならない事が、二つあつた。一つはこの街に滞在する二週間を過ごせる安い宿を捜す

こと。そして、アメリカで頼まれて來た品物を、メモして住所に届けることであつた。

私は、アベニーダ、アフラニオ、デ、メロ、フランコと、舌を噛みそうな長い通りの名称を口にしながら、漸く立ち上つていた。

通りへ出ると、向こうから来る轍を立てた踊りの一群に出会つた。男は上半身裸で、花模様のショートパンツをはいていた。女は腰に裳のよう巻き付け、胸もまた同じ柄の布で覆つてゐる。混じつてゐる子供達も、同じ衣装に統一している。ただ足もとだけは、ゴム草履あり、シューズあり、サンダルありと云つた風であつた。彼らは炎天下に帽子も被らず、歌いながら行進して行つた。彼らまた暫くして、目の処だけくり貫いた白い衣を頭からすっぽり被つた、奇妙な集団も通り過ぎた。私の歩いてゐる処は、街の外れであるらしく、サンバの騒音は彼方の下町と思える辺りに盛り上つっていた。

バスが来たので、およその見当をつけて、乗つた。案の定、最前地図で眺めていた通りの名前が、窓外の道路標識に現われ始め、私を安心させた。東の間私はバスの中に響くサンバのリズムに、身をまかせる。誰かが、トランジスター・ラジオを鳴らしていたのだ。気が付くと乗客の大半は、前の座席のシートを、リズムに伴せて掌で叩いていた。バスは海岸通りに出て、入り江に沿つて走つている。二年前であつたか、やはりカーニバルの時に、浮かれてしまつた運転手が、走行中乗客もろともバスを海に落して、五十数名の死者を出した。あの世に行つてもサンバを踊つてゐるに違ひないと揶揄した記事を、米国で読んだ記憶があつた。

海にヨットが浮かぶのが見え、褐色の膚が白い波に練れてゐる浜があつた。そのあたりから、乗客の数が増えた。私は腰を浮かせ、半黒の婦人に席を譲つた。この国に入つて氣付いたことだが、皮膚の色は、黒人と一口に言つても半黒から土色のような褐色から、真黒から、実際に種々雑多であった。私は席を代つたその半黒の婦人に、

私の行こうとしている場所を訊いた。しかし彼女は、英語が話せず、私は彼女の話すポルトガル語が理解出来ない。

私は断念して、また窓外に移り行く海を見ていた。砂浜は、眩しい程白かった。紺碧の海は、青い天と照り映えて、その色を一層濃くしていた。

私は、吊り革につかまつたまま、片手で地図を開げ道路標識の地名を図面の上に捜していた。その時、横合いから話しかけて来た女性がいた。私は行き先を言つた。彼女は何處そこで乗り換えなければいけないと言い、自分の帰る方角が同じだから途中まで一緒に行こうと言つた。

後は、彼女が色々な事を私に尋ね、私が応えた。日本を出て三年余り経つと話すと、彼女は、自分も日本には半年間勉強に行っていたと語つた。私は、改めて彼女を見た。白い顔に薄茶のサンガラスを掛けている。学生の感じではない。と云つて、家庭の主婦と云うには若過ぎ、そんな雰囲気もない。所謂OLというのも、ちょっと違っていた。何だろう。私は知りたい気がしないでもなかつたが、敢て尋ねなかつた。彼女は淡いピンク系のノースリーブのワンピースを着ている。

バスが揺れ、小柄な彼女の肩が私の腕に触れると、私はそつと身を退いた。

バスを降りる時、運転手が悪口を言った。ポルトガル語だったので、はつきりしたその意味は分らなかつたが、日本人の男に騙されたりしないように気を付けろよとか何とか言つた。彼女は笑つて、何とか応えた。(二言三言あり)、運転手の言い方に嫌らしい感じが残つた。彼女の受け应えが、悪びれぬ清々しいものでなかつたら、私は恐らく傷ついていたであろう。

バスを降りた私は、彼女について次のバス停に歩いて行つた。そこで初めて、彼女が私の名前を訊き、彼女自らも名告つた。ホーザ、マリヤ、マットス、カルドス。一度聞いた位で決して覚えられないような長つたらしい

名前である。ホーザは、私がその住所へ何をしに誰を尋ねて行くのかと訊く。私が、ロサンゼルスで会つた日本人から、贈り物を托されたこと、相手は彼がブラジルに居る時に世話をなつた警察署長であるらしいことなどを、語つた。詳しい事は、彼も語らなかつたし、私も聞いてはいない。それ程親しい人でもなかつた。偶然ロスで会い、彼が私を信用して贈り物を托した、それだけの話だ。

「気がついたけど、あなたはちっとも物を訊ねない人ね。私の方からばかり質問しているわ」

ホーザは、興ざめしたような声を出して、私を見た。しかしその停留所でバスに乗り、三区画ほど過ぎれば彼女と別れてしまうだろう。そんな出会いと別れは、この三年余の期間、何百遍繰り返してきたことだろう。私は、多くの物に心を懸ける寂しさを、知つてゐる。傷つくことが嫌なら、出来るだけ無関心でいることだ。

「北米で映画を見てましたらね。その映画の中で、日本人は初対面の人間に根掘り葉掘り訊き過ぎる。詮索好きは、日本人の悪い癖だって、そんな事を話している場面がありました」

彼女は立ち止る。不審な表情を、サンガラスの奥の大きな目に浮かべている。

「そうかしら?」

「それ以来、いやにその言葉が私の頭にこびりついていましてね。ところが實際は、外国人の方から、訊ねられてばかりいるんですよ」

「その映画の中で、喋っていたのは何処の国人だったのかしら」

彼女は益々鼻白んだような顔付きになつた。

「もちろん日本映画で、その科白の主は、私の好きなタイプの女優さんでしたけど……」

ホーザは、一気に吹き出していた。白い喉を見せて、可笑しそうに身を捩つて笑つた。

「あなたって、おもしろい方だわ。ジョークのセンスが

おありなのね」

冗談ばかりとも言えない自分は、ちつとも可笑しくはない、鋭角に光を撥ね反している波の方を見ていた。

「海の方に行ってみない？もちろんあなたに時間があればの話ですけど……」



私は、頷いていた。時間なら、すべての時間が私のものだつた。今日一日、明日もまた翌日も、何をして過ごそうと、私を縛つている物は何もなかつた。

「この辺り一帯から向こうにかけてが、コパカバーナの浜。建物も市の規制で高さが一定に保たれていますでしょう。対岸に見える街は、ニテロイ。あの岬の向こう側が、私の住んでいるイパネマ。あなたの行こうとしているレブロンは、その次の街ですよ。」

碧い海。白い砂浜。入り江に沿うて建つ屏風のような同じ高さのビルディングの壁。それが、なだらかな弓形を描いて、向こうの岬まで延びている。

「イパネマの娘と云う曲を、私は知っていますよ。」

「そう言えば、私はイパネマの娘ってとこから。でも私の家族は、すぐそこに住んでいますよ。コパカバーナは物価も高いし、家賃だってニューヨーク並みでしよう。父は弁護士だから住めるようなものだけど……」

私が質問しないものだから、彼女は自分の方で、出来るだけ話の隙間を埋めようとする。それでも私は、腑に落ちない処が生まれる。分らない処は、意に介しないで捨てて行く。時の中を、私もまた流れているに過ぎないのだ。ところがホーザは、出会いからまだ一時間も経っていないと云うのに、行きずりの私に対して、話の空間を埋めようと努めていた。そんな話し方を彼女はしていた。

私は、彼女がどんな人間なのか、不意に知りたい衝動のようなのを感じていた。

「ホーザ、あなたは何をする人なのですか」「何をする人？ アラツ、あなたは初めて質問なさつたわ」「いいえ、言いたくなければ、別にいいんです」

砂山の向こうに、長々と寝そべっている男や女の陽に焦けた黒い膚が見え隠れする。白人居れば、混血も居る。私達の歩いている石畳の歩道から、白い砂原を挟んでかなり向こうだ。

「私はお医者さま」

ドクター? と彼女の言葉を繰り返しながら、私は、非常に吃驚した声を思わず発していた。

「もっと、驚かせて差し上げましょうか。実は、ワニやライオンやカバのお医者さま。動物園に勤めていますのよ」

今度は私が立ち停った。小柄な可愛いと云つた感じの女性が、猛獸のお医者様だってことが、どうして信じられるであろう。でも彼女が嘘をついているとは、思えなかつた。

「嘘だとお思いになる。来週にでも動物園にいらっしゃい。園内を案内してあげますわ。日本に行つたのも、その研修のためでしたのよ」

私は、ノースリーブのピンクの服から出た、彼女の華奢な白い腕を眺めていた。動物園を訪れる価値は、それだけで充分だと思えた。この白い腕が、どのように猛獸を診察するのか。私は、いつか必ず行くと約束した。

また暫く歩き、喉の乾きを私は覚えていた。振り仰ぐ私の目に、背後の山頂に聳える両手を拡げたキリストの立像が、とび込んでくる。

この入り江は、巨大なキリスト像の懷深く抱かれている感じがする。

「何かお飲みになりたいのね」

私は驚く。そしてすぐ、彼女は言葉の通じないカバやキリンなどの相手ばかりしているから、相手の気持はどうでも分ってしまうのではないかと、そんな鬱陶しい思いに取り憑かれていた。

「あなたのボルトガル語はお出来になるの」

「お金の計算と、アリガトウ、コンニチハ。これで充分」

彼女の笑い。私の口元も綻びている。

「まだこの国に着いたばかりですから、分らなくて当然。英語が駄目なら片言のスペイン語。それがイケナイとなると、奥の手はブローケンなジャパンニーズを喋つて、それでなんとかやって来たのですから」

「レブロンに一人で行けるかしら。私、どうも心配だわ」

私は、覚えたてのボルトガル語で、レブロンに行く道筋を教えて頂けませんか、と言つてみる。

ホーザは、日本に留学していた頃の不自由さを憶い出すのか。なおも思案している風であつたが、

「いいわ、一緒に行つてあげます。でもその前に父の家に寄つて行きません?すぐそこですのよ。何か冷めたいものでも飲んで行きましょう。父はいないと思いますけど、母がいますから。それに母の赤ちゃんの顔も見たい

し。すごく可愛いいの」

彼女は方角を変え、もう先に立つて歩き始めていた。大きな荷物を肩にした、よれよれのズボンをはいた私が、その後に従う。

目と鼻の先に、道を挟んでホテルやマンションのビル群が並んでいる。ホーザの言つたように、彼女の父のマンションは、すぐそこにあつた。

海に面した白いビルの二階へ、私達は上つて行った。ホーンを押しホーザが名前を告げると、内側に開いたドアの陰に、まだ若い女の顔が覗いた。ボルトガル語の、二人の明るいやりとりがあり、すぐ私が紹介された。

クリーム色の室の、柔らかいソファに私は勧められるままに浅く腰を下ろしていた。開け放たれた窓に吹き入る、海からの風が、レースのカーテンを静かにふくらませている。

私は内心に戸惑いを覚えていた。ホーザが英語からボルトガル語に通訳をする。

「お母さんだと云うのに、まだ若い美しい女性なので、びっくりしました」

私は感じた気持を、余りにも正直に口にしていた。ホーザの通訳で、二人の女性の笑声が、はじける。彼女の母の美しい声の響きが、薄いカーテンをまき上げて、碧い窓の外へと流れて行くのを、私は見ていた。





お客様のイメージを、  
ヤマギワが、かたちにします。



神戸・南京町

確かなものは、時をこえる。



世界の照明・日本のあかり

神戸  
ヤマギワ

中央区二宮町 078(241)2111代



# かずめ 和梅ちゃんの

## スパットボウリング入門

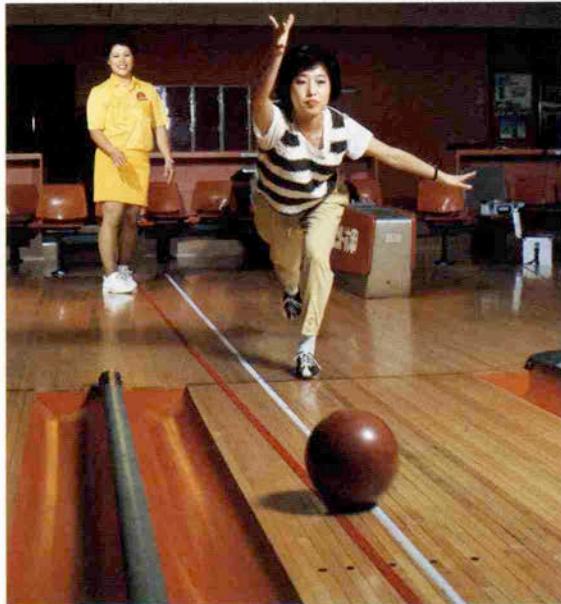
★ボウリング

エチケット集

- レーン・アプローチに傷をつけないようにしましょう。ロフトボウルやバウンドさせないよう投球しましょう。
  - 右側のレーンが優先です。隣のレーンの人と一緒にになった場合はレーンに向って右側の人方が先に投げます。
  - 投球後の結果をみるとことはよいことですが、いつまでもアプローチの上にいるのはやめましょう。
  - アプローチの上で喫煙や飲食をしてはいけません。
  - ボウルは間違わないようにしましょう。使用後は必ずもとの置場にもどしましょう。

## ★有名プロボウラーが ぞくぞくと来場

- 8月7日(土)保倉義孝
  - 8月14日(土)酒井武雄
  - 8月21日(土)  
アメリカ女子プロボウラー3名が来場。  
みなさま、おきそい合せの上、多数ご参加下さい。



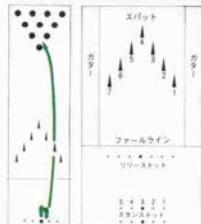
「スパットボウリングって、なに？」



「このように投げるのよ



中野美智子プロの模範投球



スタンスはスタンストップの③番に左足を置く位置。スパートは②番を利用する。

● スパットボウリング。  
和梅 安定したボウリング。  
つて、なんですか?  
シバットボウリング。  
に慣れなければいけない  
いそうですが、それは  
どういうのですか。  
中野プロ ピンを目標  
に対するピンボウリング。  
に対し、約5メートル  
ル先のスパットを目標  
にするのがスパットボウ  
リング。近いので安定性  
があるのですが、ストライク  
アングルを狙うために、  
と目標スパットのとり  
方が色々あります。球  
質にあわせて基本にな  
るアングルを先ずマス  
ターすることですね。  
最もボビューラーなアングル

**Grand Rokko**

灘区友田町5-2-3 ☎ 078(841)3151(代)

# 神戸のうまいもんとドリンク

## ★日本料理

讃岐名代うどん あこや亭  
中央区旗塚通7-1 231-6300  
トアロード店 391-2538  
兵庫駅前店 575-5306  
住吉店 453-3737

北海道郷土料理 蝦夷  
中央区中山手通1-4-13 東門筋東門会館ビル1階 331-7770

和食くれない  
三宮生田新道浜側中央K.C.Bビル2F 331-0494

料亭 布引大しま  
中央区熊内町4-8-19 221-1945

たこ焼たちばな  
三宮センター街(旧柳筋) 331-0572

民芸御食事処 灰焼ステーキ五  
元町3丁目山側 391-3156

本格派日本料理 割烹吉本  
中央区中山手通2-3-20(生田警察署西口前) 331-5817-392-2020

山菜料理 六段  
国鉄三宮駅山側 231-0406

欧風焼鳥トロードリ  
中央区下山手通2-12-21生田ソシアルビル 391-3028

そば処木曾路  
フワーラード市役所前KEビルB.F. 231-1295

鮟鱇花銀  
中央区三宮町3-10-16 222-2323

どじょう吾作  
中央区元町通2-7-20 321-0539

鍋・しゃぶしゃぶ三十三間堂  
神戸ワシントンホテル2F 331-6111

割烹銀  
神戸ワシントンホテル2F 331-6111

串かつおかだ  
中央区北長狭通1-7-13 メインスタービル2F 331-0686

やき鳥南蛮亭  
北野坂店 中央区山本通1-7-21 221-5931

★各国料理  
レストラン 鹿皮くあらかわ  
中央区中山手通2-15-8 221-8547-231-3315

ステーキハウスグリル青山  
中央区下山手通2-14-5(トアロード) 391-4858  
スカンジナビア料理 ゴックススタッフ  
と世界の民族音楽の店 中央区山本通3-1-2 回教寺院前 242-0131

## 佛蘭西料理 KARIN

神戸プラザホテル2F(元町駅南) 331-4558  
メキシコ小料理亭 テイフアナ  
中央区中山手通1-21-13 パールコーポラスビル1F 242-0043

ピザ・パブ ピザ・パテオ  
中央区元町通1-10-4(元町1番街) 331-9378

フランス料理 ピストロドウリヨン  
中央区山本通2-13-6 221-2727

レストラン 麻布キャンティ  
中央区北野町4-1-12 異人館俱楽部 222-5380

maison de la mode 花屋敷  
三宮フワーラード市役所前 251-2109

ボリネシア料理 海賊焼  
神戸港第4突堤ボートターミナル 331-0301

レストラン フック東店  
中央区栄町通1-2-14 321-3207

SELF-SERVICE CAFETERIA Beer House  
三宮・生田新道 331-9554

グリル・鉄板焼  
三宮・生田新道 331-2509

喫茶・レストラン カフェパウリスタ  
三宮・トアロード(パウリスタビルB1) 391-0061

ステーキハウス れんが亭  
中央区下山手通2-5-5 331-7168

BARBECUE & STEAK 六段  
中央区元町通3-8-4 331-2108

レストラン フック神戸店  
中央区栄町通2-9-11 321-3453

ステーキ＆神戸館  
中央区下山手通2-2-9 アマツビル1F 321-2955

サンバ& ブラジル料理 コパカバナ  
中央区中山手通2-1-13 332-6694-6697

ドイツレストラン ハイデルベルク  
中央区山本通2-8-15 ローズガーデン2F 222-1424

シルクロード料理 ぶはら  
三宮町2-3-9 タキビル2F 331-1734

The grill BOB(ボブ) トアロード西山側  
中央区北長狭通3-1-2 フーストバブ2F 392-2500

あより肉屋 和黒  
但馬屋の牛丼テイキ  
中央区中山手通1-24-1 ヒルサイドテラス1F 222-0678

炭やきステーキ 凱旋門  
中央区下山手通2-10-4 新道ビル1F 392-3655

## レストラン ハング

中央区北長狭通3-2-13 331-7537  
スコッチ&ローストビーフ ガスライト  
神戸ワシントンホテル9F 331-6111

フランセコト スペイン料理 エル・ヴィノ  
中央区北野町3-2-4 アニルド・マンション1F 241-1344

中国料理 萬壽殿  
中央区中山手2-20-4 231-4531

フランス料理 ルー・サロメ  
中央区中山手通2-3-7 第2六門ビル1F 392-1251

## ★喫茶

コーヒーラウンジ City of City  
中央区三宮町3-9-1 331-1117

ティー&スナック イポツク  
中央区元町通3-8-8(浜側) 331-3694

喫茶ガーデニア  
中央区東町113-1 大神ビル1F 321-5114

喫茶カフェ・ド・ガーデニア  
中央区三宮町3-8 大和ビル 392-4004

LE CAFE ガレ  
中央区山本通2-3-14 242-7144

宮水のコーヒーにしむら珈琲店  
中山手店・中央区中山手通1-26-3 221-1872-231-9524

三宮店・国鉄三宮駅山側 241-2777  
センター街店・中央区三宮町10-27 391-0669  
北野店・山本通2-1-20 242-2467  
(会員制) 3F 事務所 242-1880

ピアノホール バックステージ  
中央区三宮町1 サンプラザ10F サンロイヤル 332-0230

珈琲モーツアルト  
中央区山本通2-6-11 グランドマンション1F 241-3961

サンドイッチハウス ココアココ  
中央区加納町4-7-11 392-4031

珈琲坊  
中央区三宮町2-9-6(トアロード) 391-1589  
喫茶専門チェーン 株式会社ミカド

喫茶館 英國屋  
神戸国際会館浜側 251-4562

喫茶館 葡萄屋  
三宮センター街3丁目 391-9006

喫茶館 仏蘭西  
三宮・フワーラード(神戸市役所前) 232-4643

デザート喫茶 ふどうの木  
三宮・フワーラード(神戸市役所前) 251-3231

喫茶 デューク・ウエーリントン  
中央区北長狭通2-6-6(トアロード) 332-1125

## ウェーン菓子 モーツアルト神戸

中央区布引町2 メゾンロージエ1F 242-3001  
姉妹店・モーツアルト三宮 神戸国際会館浜側 251-3616

茶房ナイル  
中央区下山手通6丁目2-7 341-7376

コーヒー & ド  
フレッシュジュース  
国鉄三宮駅北日生ビル隣 391-4686

喫茶モンブラン  
フワーラード市役所前KEビル1F 231-3605

ドライカク・コーヒーブティック  
中央区北野町4-9-14 222-3200

ゴーピング カフェ・ド・パリ  
神戸ワシントンホテル2F 331-6111

TEA ROOM & LITTLE SHOP ファミリア北野坂ハウス  
中央区北野町2-8 222-3535

## ★CLUB

club 飛鳥  
中央区中山手通1-2-6 331-7627

club 小万  
中央区東門筋中島ビル3F 391-0638-4386

Member's Lounge 異人坂  
中央区北野町2-9-22(三本松不動北) 222-2001

club さち  
中央区下山手通2-17-13 331-7120

クラブ 千  
中央区下山手通2-12-6 391-1077

club なぎさ  
中央区北長狭通2-11-2 331-8626

クラブ くるみらん  
中央区中山手通1-3-1 331-2854

club Moon Light  
Club 331-0157 BAR 331-0886-391-2696

club コトブキ  
中央区三宮本通り 331-1875

## ★STAND&SNACK

レストランBAR 薔薇屋  
中央区北長狭通5-5-22 351-4311

サロンアルバトロス  
中央区中山手通1-22-10  
大和ナイトプラザ2F 231-3300

ブチシャンソン E.T.トウトロ  
中央区三宮町3-8-12 スカイアービル3F  
神戸トアロード三宮センター街西入口 332-1755

Theater pub トム・キャンティ  
中央区下山手通2-8-2 神戸ワシントンホテル1F  
231-2122

## サウンドイン キヤンデー

中央区北長狭通1-21-15ニューアンカビル3F 392-3606

スタンドグラムール  
生田筋岸ビル地階 331-4637

サロング戸時代  
中央区中山手通1-23-10  
モンシャトウコトブキビル 242-3567

カクテルラウンジ サヴォイ  
高架山側 テキの店北 331-2615

LOUNGE コリナドロ  
中央区中山手通1-22-13  
ヒルサイドテラス1F 222-5470

ミュージック・ラウンジ サントノーレ  
トアロード店 中央区下山手通2-5-6 391-3822  
北野店 中央区中山手通1-22-10 大和ナイトプラザ6F  
221-3886

スタンド千里  
中央区下山手通2-11-1 K.S.Mビル1F 331-4730

素舌洞でつさん  
中央区北長狭通1-5-12 331-6778

STAND マシュケナダ  
中央区中山手通2-30-1 東門大和ナイトプラザ2F  
331-5587

メンバーズモントカルロ  
中央区中山手通1-7-6 ニュー友蔵ビル1F 391-0081  
シャングリラ 中山手通1マリンビル1F 391-8941  
グランプリ 中山手通1ニュー友蔵ビル1F 391-4406

WINE & RESTAURANT 酒夢猫  
中央区中山手通1-13-14 神戸酒販ビル2F 332-3308

末広光夫のティファニー  
中央区中山手通1-21-13 241-1771

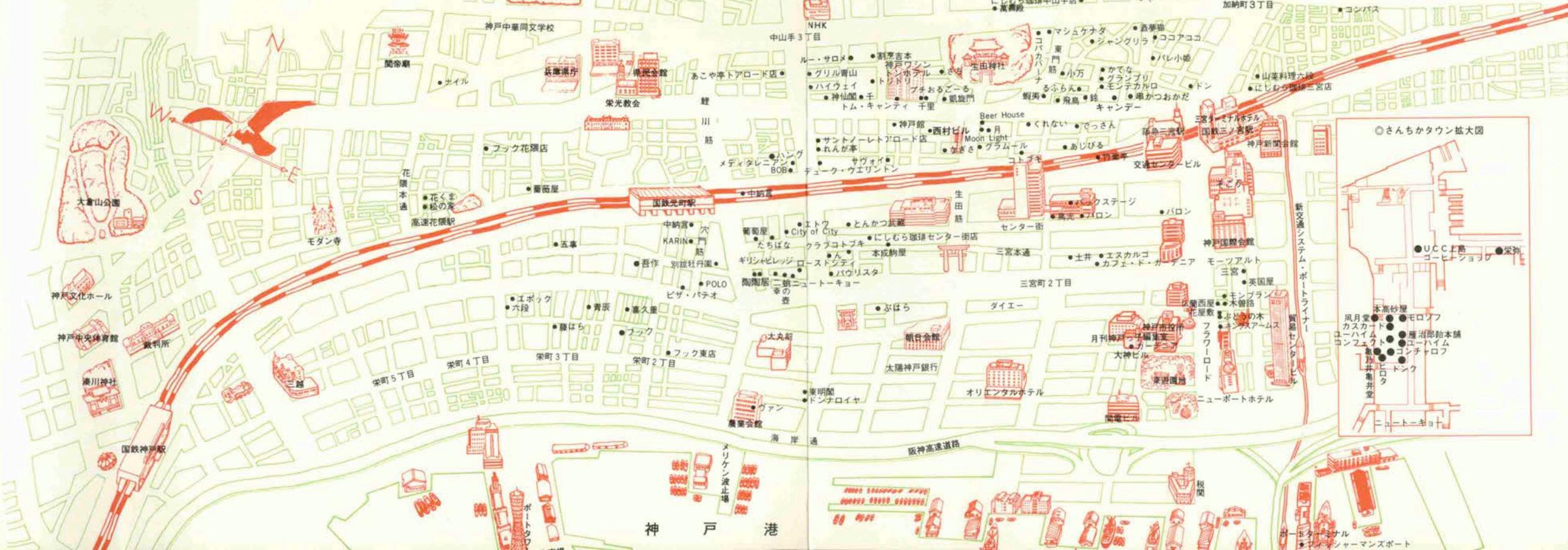
Wine and Something 珍地理屋  
中央区中山手通1-22-10  
大和ナイトプラザ1F 242-0288

S NACK プチおるごーる  
中央区下山手通2-11-K.S.Mビル2F 332-2680

レジャービル 西村ビル  
中央区北長狭通2-12-10(生田筋)  
ランダムハウス45rpm 虎連坊 楽珍 エスキヤクラブ  
スタンドかてな  
中央区中山手通1-7-10 英健ビル1F 331-1316

# KOBE うまいもん& ドリンクMAP

★KOBE PLAY GUIDE MAP





自然食品・自然化粧品の専門店  
**Natural House**  
ナチュラルハウス神戸店

冷凍島

8

Natural Cosmetics 自然化粧品

3

4

バザール



4



8



漢方薬専門店カンボウファーマシー

栄養補助食品コーナー

## 栄養バランスのとれた食生活を!

最近では、病気なのか健康なのかはつきりしない人が多いようです。つまり、医者から病気の宣告を受けていないのだが、どうも体調がすぐれず健康とも思えないという人たちです。このような人たちがあまりにも多いことから現代は1億総半健康人時代とさえいわれています。原因としては運動不足もありますが、それ以上に食生活に大きな問題があるようです。つまり、栄養が偏ることから生じる栄養のアンバランスです。例えば女性に多い貧血、この原因のほとんどが鉄分不足といわれています。ナチュラルハウスでは、このような方々には栄養バランスのとれた正しい食生活を送られるようおすすめしています。また、外食が多いなど栄養がどうしても偏りがちな方のために、不足した栄養を補う食品を数多く揃えた栄養補助食品コーナーを設けています。それに神戸店では漢方薬の専門店カンボウファーマシーもあります。ご自身の食生活にちょっと自信がないと思われている方はいらっしゃいませんか。専門の栄養士が食事相談にも応じていますのでお気軽に声をおかけください。

取扱品目……●生鮮食品コーナー/無農薬で有機肥料の野菜や果物、放牧飼育の牛・豚・鶏の肉●自然食品コーナー/食品添加物に頼らずできるだけ自然の栄養を活かしました●栄養補助食品コーナー/偏った栄養にバランスを●輸入食品コーナー/自然食の先進国から直輸入●自然化粧品コーナー/お肌にやさしい植物油が主原料●家庭用品コーナー/日用品からはじまる健康管理●ブックコーナー/自然食の情報をお届けします——神戸店では「より健康な生活への語らい」を共通のテーマに、3つの自然が仲間入りしています——■自然食料理の部屋サントマト/自然が味わえるパーカー■自然美容の部屋サムソン&デリラ/自然美容とすぐれた技術の美容室■漢方薬の部屋カンボウファーマシー/健康の切札となる漢方薬専門店

国鉄元町	三宮	ナチュラルハウス神戸店
阪神元町	西宮	〒650神戸市中央区元町通2-7-7 ☎ 078(392)3661
センター街		年中無休・営業時間／10:00 A.M. - 8:00 P.M.
元町通り	自由が丘店	〒152 東京都目黒区自由が丘1-13-14 ☎ 03(718)1738
ファミリア	下北沢店	〒155 東京都世田谷区北沢2-26-3 ☎ 03(465)8556
	青山店	〒107 東京都港区北青山3-6-18 ☎ 03(498)2277

# メンバーズ・クラブ。



21Cスポーツ&カルチュア対談●2

新しい文化の拠点、神戸21Cで肉体と知性の活性化を



西中 和光  
(株)神戸21C 社長

牛尾 吉朗  
(株)ウシオ工業社長

西中 相変わらずのご活躍で大変お忙しそうですが、熟年に達した経営者としては健康の維持と増進を図ることが大事です。ご自身や周囲の方の健康管理にはどう心を配っておられますか。

牛尾 自分のことについて言うと健常法は熟睡することだけですね。30くらいまでは剣道、テニス、ゴルフと随分スポーツはやりました

たが、今は月月火水木金でもともかく時間がない。

ただ若い連中には、この恵まれた施設を活用して大いに体を動かしてもらいたいね。神戸21Cは本当に自由にプレイできる雰囲気をもった素晴らしいクラブですね。西中さんの人格がよく現われている。



牛尾吉朗氏

今度は7階も新しくオープンされましたね。

西中 いまジャズダンスの

教室だけで、800人の生徒さんがいるんですが、7階のイベント&カルチャーフ

ロアでは空手からミュージカル、世界のグンス、サンバとバラエティ豊かなスクールも始めました。スポーツインストラクター養成のための学校も開校しましたし、カルチャー教室からジュニアのためのコースまで幅広い内容を展開しています。

牛尾 特に若い青少年の人



西中和光氏

間形成にとってスポーツの果たす役割は重要だから、大いに奨励したいね。

ただ僕ら経済人にとっては、ここでラケットボールや水泳を楽しむことよりも今後神戸21Cがどう動き、どう伸びていくかを学ぶことの方が大切です。その授業料として入会金60万円は安い。(笑)

西中 21C青年経営者塾もスタートして、これからも未来を担う若い人たちの勉強の場、また出会いと交流の場になります。有意義なイベント、講演会、シンポジウムなどを次々と企画して、文化の拠点としても今後ますます頑張っていきたいですね。

## KOBE 21c

21世紀をクリエイティブに生きるためのメンバーズ・クラブ

●お問合せ・お申込みは

神戸市中央区雲井通5丁目3番 サンパル内  
KOBE21c 9F インフォメーションフロント

☎ 078-291-0210 代表



※駐車場は3時間まで無料でご利用いただけます。